

生誕120年記念

はつ
た
よ
いち
八田與一展

台湾の大地を潤した男うるお



平成18年 平成19年
10月26日(木)~2月25日(日)

休館日/12月29日~1日3日

金沢市立 **ふるさと偉人館**
Great People of Kanazawa Memorial Museum

〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4
TEL(076)220-2474 FAX(076)220-2197
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ijin/>

開館時間 ● 9:30~17:00(入館は16:30まで)
入館料 ● 一般・大学生……………300円
65才以上……………200円
高校生以下……………無料
団体(20名以上)………250円

主催/金沢市立ふるさと偉人館

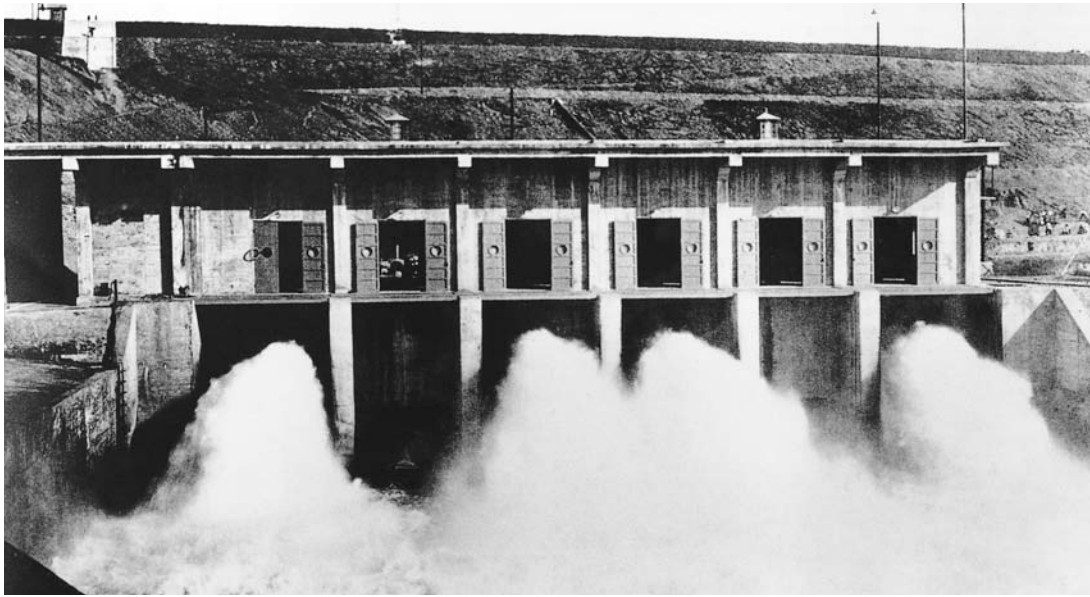
協力/台湾・嘉南農田水利会

八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会

生誕120年記念

八田與一展

台湾の大地を潤した男



ダムからの水を幹線水路に噴出(昭和5年5月15日 通水式当日)

本年は八田與一の生誕120年にあたりますのでこれを記念して「八田與一 —台湾の大地を潤した男—」を開催します。

八田與一は、当時台湾で不毛の大地と呼ばれていた嘉南平原に、堰堤長1,273mという東洋一の烏山頭ダムと総延長16,000kmにおよぶ給排水路を完成させます。この結果、嘉南平原は台湾一の穀倉地帯となったのです。台湾ではこのダムと給排水路をあわせて嘉南大圳と呼んでいます(「圳」とは農業用の水路のことを指します)。八田與一は「嘉南大圳の父」あるいは「台湾農業の大恩人」として現在も台湾で多くの人に慕われ続けています。

今回の展覧会では、台湾で大切に保管されている八田與一の資料(大学生時代のノートや図書、手紙、衣服など)を中心とし、八田與一と妻・外代樹の学生時代の資料なども展示します。また「嘉南大圳」の工事写真も多数展示し、その生涯と業績を顕彰します。今も光を放つ偉大な業績と魅力をご覧ください。



八田與一・外代樹夫妻(最後の写真)
(昭和17年4月8日 台北幸町官舎前)

八田 與一 (1886-1942)

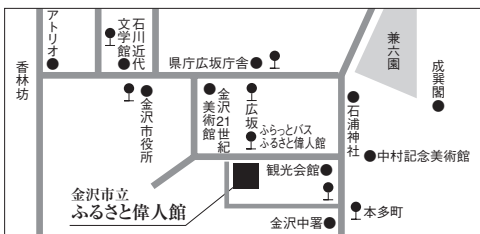
明治19年、現在の金沢市今町に生まれる。第四高等学校、東京帝国大学工科大学を卒業後、台湾総督府に勤務する。34歳の時、嘉南大圳を立案、設計し、10年の歳月をかけこれを完成させる。56歳の時、大洋丸沈没によって死去。八田與一が亡くなった5月8日には、今でも台湾や日本から多くの人が集まり、八田與一を偲ぶ墓前祭が行われている。

記念講演会

- 11月4日(土) 13時30分～
「嘉南大圳の父・八田與一」
講師：徐金錫氏(台湾 嘉南農田水利会会長)
「八田與一が遺したもの」
講師：高橋裕氏(東京大学名誉教授)
- 11月25日(土) 13時30分～
「台湾を愛した日本人・八田與一の生涯」
講師：古川勝三氏
- 12月9日(土) 13時30分～
「烏山頭ダムと八田與一」
講師：玉井信行氏(金沢大学大学院教授)
- 12月17日(日) 13時30分～
「三年輪作を中心として」
講師：丸山利輔氏(石川県立大学学長)
- 2月21日(水) 17時30分～
「八田與一技師誕生会」
感話：中川外司氏



台北幸町官舎で8人の子供たちと(昭和10年8月)



金沢市立 ふるさと偉人館

Great People of Kanazawa Memorial Museum
〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4
TEL (076) 220-2474 FAX (076) 220-2197
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ijin/>